

子どもストリートスポーツ推進事業業務委託 随意契約理由

現在、人口減少社会の中で生産年齢人口を中心とした人口確保が基礎自治体の急務であり、その競争は激化の一途を辿っている中で各市町村がそれぞれ自治体の魅力を創造・発信しております。

本町においては、人口減少社会に対応し、持続可能なまちづくりを進めていくための対策である「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標 2 に位置付けた町の認知度の向上を図るため、一つの手段として、2019 年の春に ARK LEAGUE（スケートボード、BMX、ブレイキン）による世界大会を開催し、日本全国のみならず、世界中から競技者が本町に集い、大きくメディア等に取り上げられたところであります。

本町では、ストリートスポーツが東京 2020 オリンピックを契機に今後の普及や発展を予測して、いち早く施策として取り込むことで、スポーツ振興の観点から、地方創生事業を通じて更なる認知度の向上を図り、人口減少社会の中でも生産年齢人口、関係人口の獲得に向けた一手として、取り組みを進めてまいりました。

また、オリンピックにおいて、ストリートスポーツ競技における日本人選手の活躍を契機として、子ども達を含め、急速に競技人口が増加している中、町においてもさらなる町内の子ども達へのストリートスポーツを「知る」、「する」きっかけとなる機会の提供を目的に、トップアスリートによる「子どもストリートスポーツ推進事業」を身近な場所で実施していきたいと考えます。

本委託業務は、ARKLEAGUE 世界大会（スケートボード）で世界チャンピオンとなり、2024 パリオリンピックスケートボードストリート競技において、日本代表として、見事 4 位入賞を果たした白井空良氏、ARKLEAGUE 世界大会のオーガナイザーを務め、BMX フラットランド種目において、11 度の世界チャンピオンに輝いた内野洋平氏、2022 年に横浜市で開催された BMX の世界大会 BMX YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL FLATARK にて優勝した田圓尚人氏などを擁し、ストリートスポーツ競技の施設設営、運営、イベント開催等の経験が豊富で数々の実績があり、2019 年の ARKLEAGUE 世界大会開催以降、町の認知度向上に努めている（株）ARKLEAGUE に委託したいと考えます。

以上のことから、これまでも当施設利用者から多くの世界ランカーを輩出し、町内利用者との交流、指導、教室開催などの実績を重ね、唯一無二の効果をもたらしてきた（株）ARKLEAGUE に委託することが、契約の目的達成のために必要となる条件を満たすものと判断するところであります。

よって、地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号に該当し、当該法人との間で随意契約を締結することを希望するものであります。